

水素吸着素材「ハイドロカルシウムパウダー」の特徴について

～そもそも、水素とは？～

■ 特異な抗酸化作用を発揮する物質

- ・他の強力な抗酸化物質の中には、必要な活性酸素まで除去してしまいかねませんが、水素は、悪玉と呼ばれる「ヒドロキシルラジカル」にしか作用しません。
- ・水素は、最小の抗酸化物質なので、血管が閉塞していても通常透過しないところにまで到達して抗酸化作用を発揮し得る。
- ・通常、抗酸化物質は働くと酸化してしまい、むしろ身体に悪い影響を与えかねない。水素は、酸化されても、水になるだけで悪さをしないばかりか、酸化した各種抗酸化物質の再利用を促進する。

■ 細胞のエネルギーを産生する

- ・細胞の小器官である「ミトコンドリア」を活性化し、細胞のエネルギー源である「ATP」を作ります。加齢と共に細胞は減少し、疲労感や老化現象に現れます。減った細胞を増やすことはできませんが、水素によって残った一つ一つの細胞のATP生産性を向上することは、可能です。

～素材の特徴～

■ 人体に必要なのは、水素ではなく「水素ガス」だをご存じでしたか？

一般的に水素関連商品は、酸化還元電位計やポータブル式の溶存水素計、試薬を使用し、水素量を測定しますが、経時変化と共に測定環境等によっても数値に違いが出てしまいます。また、水素以外の還元物質等の要素で数値化されてしまうことがあります。

■ 当社の吸着素材は、水素ガスの発生量が極めて安定しています。

目に見えない水素ガスを安定的に数値化できる素材を使用しております。水素量を管理して、最大限、人体にどの程度摂り込まれているか見積もることができて、そして、体感をいただいています。

■ 水素を数値化することで、水素の存在証明をしています。

ガス量を測定しているため、水素に関する様々な研究発表データとリンクさせることが可能です。全ての数値に学術的な根拠を持たせることができます。不明瞭な測定方法ではなく、水素のみを直接数値化する上で、第三機関（ガスクロマトグラフ法）にて製造ロットごとに測定をおこなっています。これにより、効果性に関して仮説を立てやすく、また素材そのものにもトレースが取れているので、効果性を示唆でき、かつ安全性を兼ね備えるという究極の課題にアプローチできます。

■ 製造時だけでなく、摂取環境下でいかに水素ガスの発生吸収を見積れるかが大切です。

不安定な水素ですが、当該素材は、賞味期限の間、水素の経時変化が低く（10%程度/年）、通常環境であれば、その品質がほぼ維持されます。現実的には、製造ロットごとまたは、摂取環境下において、水素の発生吸収は異なりやすいものですが、当該素材においては、水素の発生が毎回均一で吸収が同じように示唆できます。不安定な水素でありながら、同じクオリティが毎回保たれます。